

眷属の結束



R18
ADULT ONLY

命には

例外なく、^{おわり}終焉がある。

人間として生を授かり
この世に生まれてきた以上

ゆえに私は幸運だったの
かもしれない。

逃れられない運命だと
私は小さい頃から
教えられてきた。

人は生きていく内に
この時間が永遠のものと
思い込んでしまうからだ。

だがそれは
身近な命が天に昇る瞬間に
「幻想」だと分かり
人は改めて思い知る事になる。

「永遠」など無かったのだと。

…シスター様

彼はこの村で偉大な戦士でした。
きっと彼の魂も浮かべられます。

自分の為…人の為…
大儀の為に生き
そして死んでいく。

それが人なのだ
私は教わってきた。

そう言って
いただけると嬉しいです。

…私はまだ修行中の身では
ございますが
お役に立てて光栄です。

いえいえ…

勇者様との長旅の最中に
ご足労いただき
ありがとうございました。

ガキヤ

INN

ふうー…

そんな考えは私が勇者様と魔法使いさんとの旅に同行するようになってからより一層強く考えるようになった。

二人はとても強く とても優しく 未熟な私を邪険にする事もない 素晴らしい人だった。

そんな二人を見ていると 私の中に

自分が何かをやり残したまま 生涯を終えてしまう恐怖を

誰かの為に天に祈る。 誰かの為に救いの手を差し伸べる。

そんな

いまのじぶんのありかた 聖職者の生き方に 死に際に疑問を覚えてしまうのではないかという恐怖を

私は抱いていた。

……

…嫌になるわね。

もう魔法使いさんを 祝福するのって 決めてるのに…。

ん…？

いい匂い…

ハーブティ…？

美味い…

づん…

誰かが 置いていったのかしら。



…ん

あやだ
の寝ちやつてた
のかしら。

……ん？
何？ この声…

…妙ね？
気のせいかしら。

泊まりは今日は私達
だけって言うたけど
それにしたって
人の心配が
しない…



確か勇者様の部屋…

勇者様？
どうかなされましたか？

ここは…

…そろそろ頃合かしら。

起きなさい。

起きなさい。

私の可愛いむすめ。

今日はあなたが始めて
生まれ変わる日。

自分の気持ちに
ウソをつく必要も無くなる。

大丈夫。
怖がらないで。

あなた達の事は
お母さんが見守ってて
あげるから…





ほら
見てごらん
僧侶ちゃん…

この尻尾を…

この尻尾の口から
魔法使いちゃんを
呑みこんじやったんだ

ぬ

ぱっ



僧侶ちゃんも
僕の子宮^{なか}においでよ。

ボコッ
ボコッ

むうと

そして僕達と一緒に
悪魔の眷属として
第二の人生を
歩もうじやないか…

ゆ…勇者様…!?

眷属って そんな…

んんっ



あら

人間をやめることに
何を遠慮しているの？

今の生き方に疑問があつたり

自分の気持ちを閉じ込めたり

そういうものに鬱屈していた
のではなくなつて？

大丈夫よ

私があなたたちの
母親になつてあげるから。

魔物ッ!?
でも全く気配が
しない!?!?

にゃる

母親ってまさか…

あなたが勇者様と
魔法使いさんを…!!

ご名答♪

彼…じゃなかった
彼女もあなたと同じ
悩みを抱えてたみたいだから

人間は年を取っていく毎に
誰かに甘える事がどんどん
出来なくなっていくものだから。

いっ

あなた達の後ろ盾に
私がついてあげたい…
と思っただのよ。

やだあ
なにコレ…!!

熟れた果物の匂いにする…

ぬるぬるして…
気持ち悪い…

あとはあなたの為と…ね。

ドン

ドン

うふふ…
あの紅茶の効き目はどうかしら？

たぶん職業柄
そっちのほうは
慣れてないと思ったから…

睡眠薬のついでに
一服盛らせて貰ったわ

むにゅ めにゅ

むにゅ

むにゅ

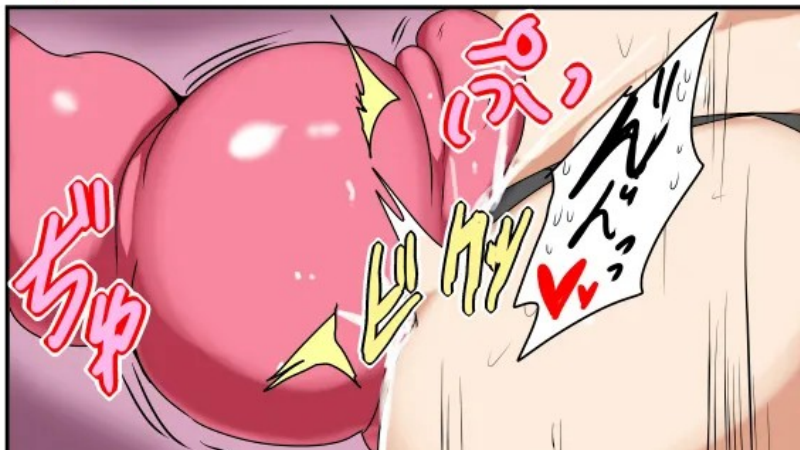
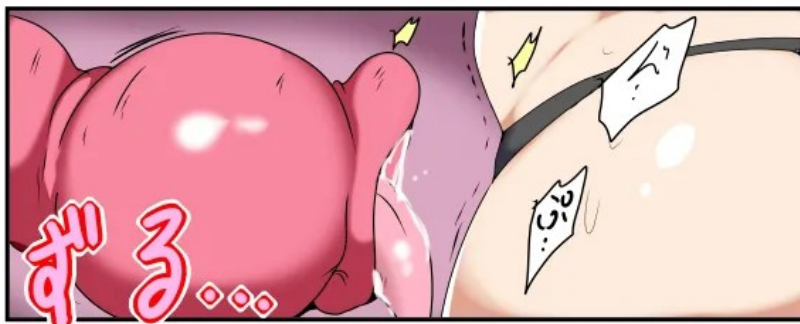
むにゅ

むにゅ

くっ

あつ
んもう

悪戯しちゃダメじゃない





ド
ン

あ
っ

や
っ

め
ちゅ

め
ちゅ

め
ちゅ

ち
よ……っ

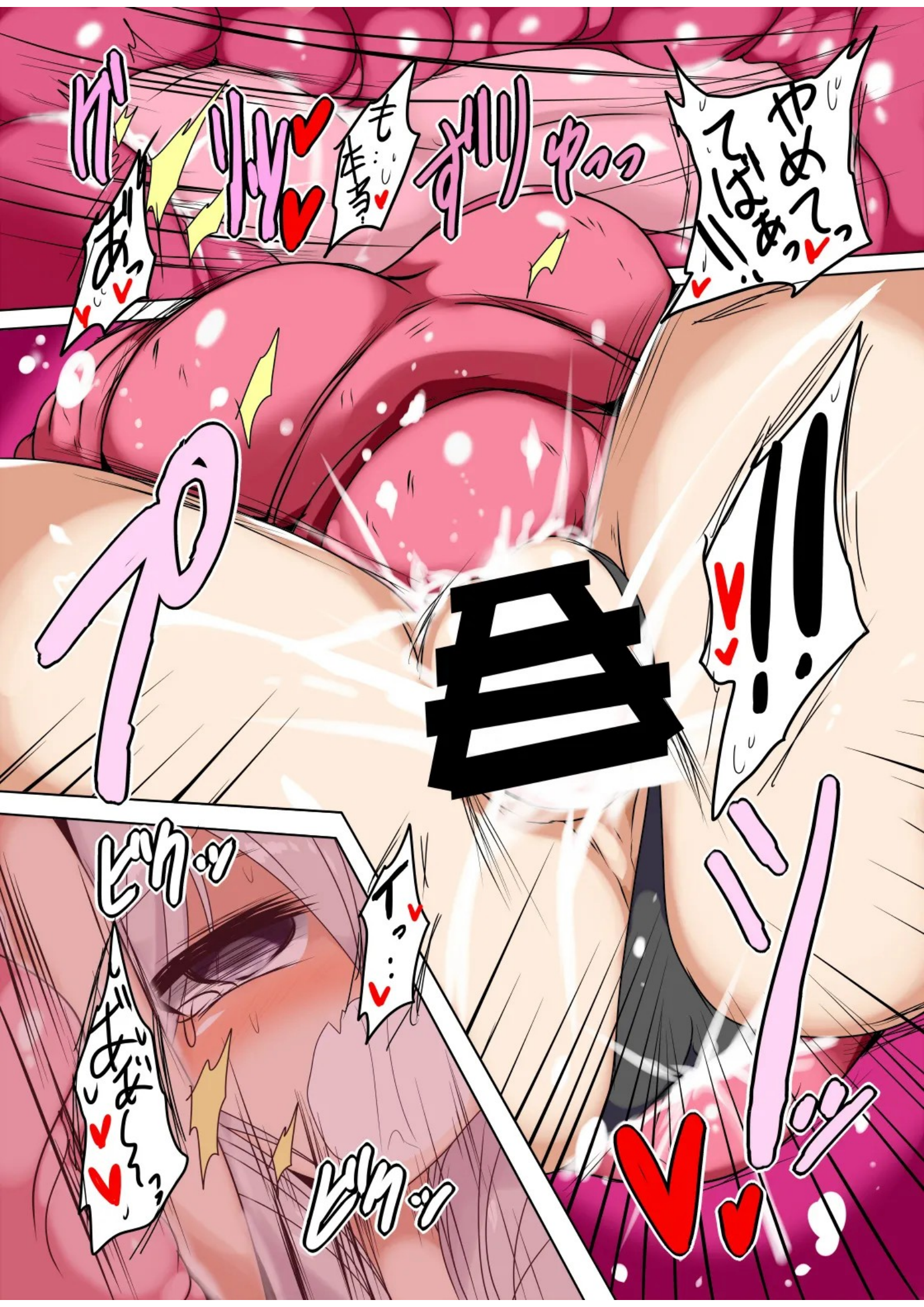
や
め
て、

グ
ン

リ
ャ

す
ん

そんなところ
舐めないで……っ
!!!



うふふ…

ちよつと刺激が
強すぎたかしら？

でもいいわ。
ほどうく身体も
ほぐれた事だし…

そろそろ私のお腹の
中にお入りなさい♪

え…今
お腹の中って…

まさか勇者様が
魔法使いさんを
呑みこんだみたい…

はっ

ん

ふい

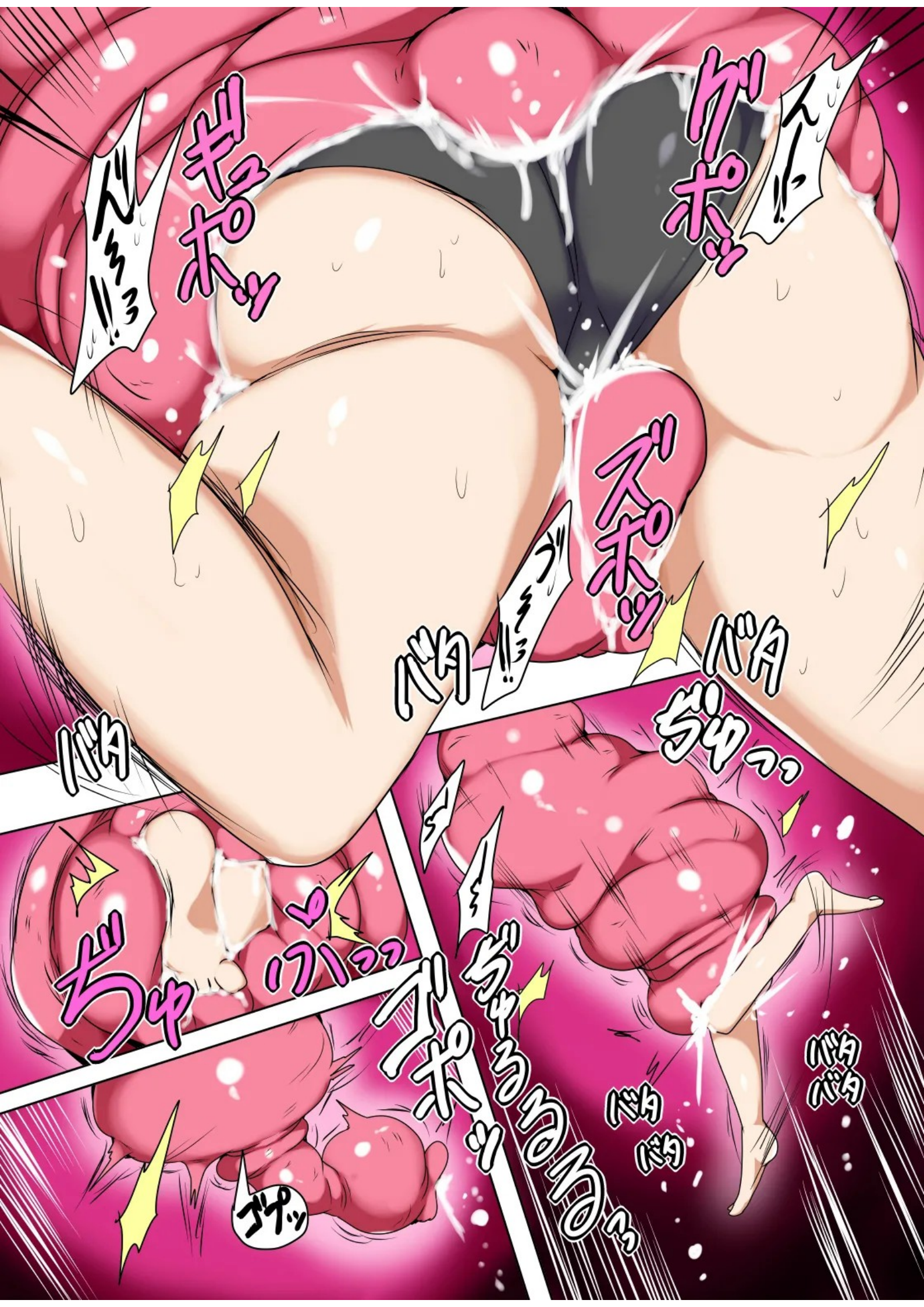
ビ
ン
ッ

ビ
ン
ッ

あち
よ…

70%
…♡





いやだっ…
助けて…!!





…ふうっ

全部入っちゃった
わね♪



ああん 暴れないの♪



大丈夫よ
食べ物みたいに
溶けたりしないから…

落ち着いて…ね？



…あれ…

貴女の好きな勇者と
勇者のお腹の中に居る
魔法使いと同じように

ドクン…

苦しくない…
痛くない…

むしろ
心地よい…

なんだか身体が
ふわふわする…

ドクン…

今から貴女も同じ
眷属になれる。

そこに人間の掟も
寿命に嘆く事も
無いわ。

あなたの思うままに
愛しなさい。

あなたが望むままに
愛されなさい。

ドクン…

家族…

好きなだけ愛せる…

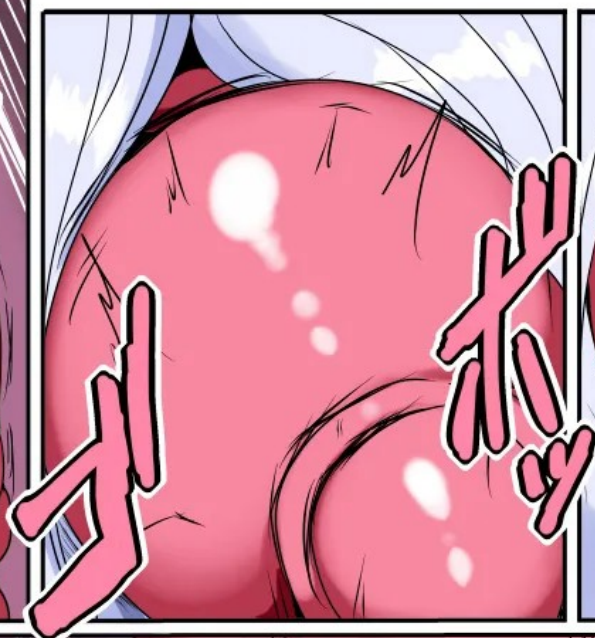
嬉しい…

ドクン…

それが悪魔として
生まれ変わる

貴女の運命なのだから…

ドクン…



...?

ふふ...
とてもステキよ。
人間としてはなく

悪魔として
生きることになった感想は
どうかしら?

どろ...



さあもうこれで
心配も気遣いも
何も要らないわ。

バッ
ッ
ッ

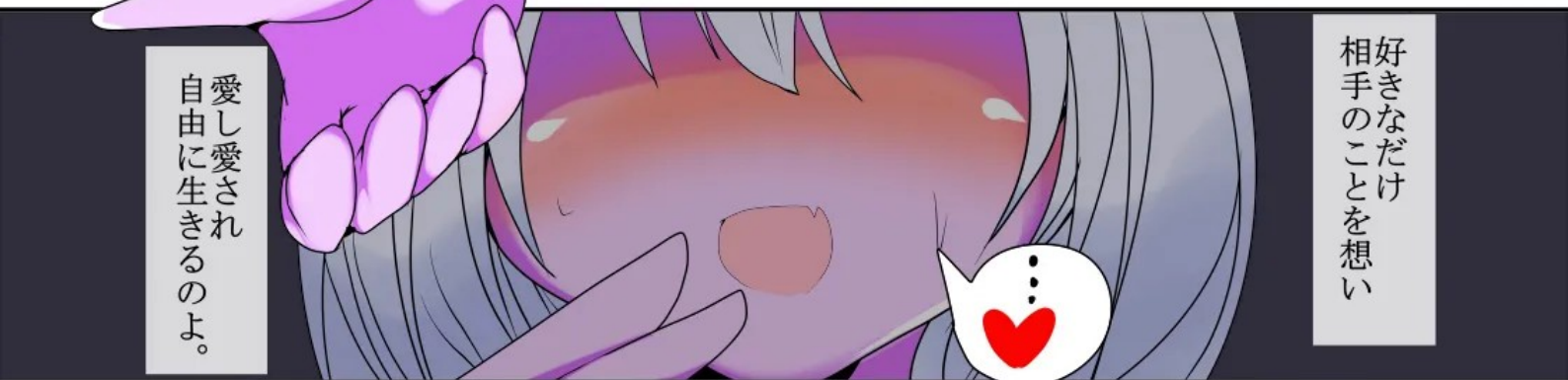
いつか尽きる命さえも、
しがらみも運命も。

とっ!



あなた達を縛るモノは
すべて無くなった。

おいで
♡♡



好きなのだけ
相手のことを想い

愛し愛され
自由に生きるのよ。

♡

そう

それでいいのよ

確かに人間には
人間の掟というものが
あるけれど

んふ

おふ

ぐううう

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

悪魔である以上
その掟なんて関係ない。

愛する人が
一人だけなんて掟も
存在しない。

二人でも三人でも
愛し愛されたって
何の問題もないの。

せつかくこの世に生を
授かって生まれて
きたんだもの。

愛して愛されて
幸せになりなさい。
我が娘達。

キュッ

あー

んふ

んふ

ちよつと待ちなさいよ
アンタ 私達に
散々エッチな事しておいて。

なにちよつと
いい事した感じで
居なくなろう
としてんのよ。

えっ!?

ああああのせつかく
水入らずなんだから
仲良くやってるのを
邪魔しちやダメかなって…

お母さん、の事を
知りたいな ♡

まあ…
たまにはこういう流れも
いいかしら…? ♡

なに水臭い事言ってるの。 ♡

私達悪魔には時間が
たっぷりあるんでしよう? ♡

それに私も もろつと ♡

17や
17ッ ♡

だっ ♡



僧侶（正式名称不明）
 勇者に対し、職業柄許されぬ愛情と
 本当の気持ちを伝えられぬまま死ぬのではないかと
 という恐れを抱いていた。
 だが名無しの淫魔に眷族にされた事をきっかけに迷いは晴れ、
 愛すべき勇者と、共に愛する魔法使いと共に
 愛の赴くまま身体を重ね続ける事になった。
 真実を知らないまま…。



勇者（正式名称不明）
 とある小さな村から旅立った名も無き勇者。
 僧侶からは魔法使いと恋仲であると思われていたが、
 実は魔法使いは古くからの友人というだけであり、
 彼もまた「僧侶に恋をしていたが、僧侶の職業柄
 彼女に余計な心配をかけてしまうと思って声をかけられなかった」
 のであった。
 かくして僧侶は勇者の本当の気持ちを知ることは無くなった。



魔法使い（正式名称不明）
 勇者とは古くからの友人。
 彼女は勇者の事を「ちょっとした姉弟」と思っていたらしく
 勇者からよく僧侶の件について相談を受けていたらしい。

そして この三人の行方を知る者は 誰もいない。

どうもタクです。

この度はいつも皆様にお世話になっております
 眷属シリーズの新作…なのですが、この度は一年以上空白があったのと、
 令和初の眷属シリーズということで、
 原点回帰も兼ねて小難しい部分は取り除いたシンプルな作品に仕上げました。

眷属シリーズはこれからも(多分)続きます。よろしくお願いします。

ではまた次の機会に。

2019年8月11日

代表者 タク/幻想ストマック

連絡先 takukuroneko0828@yahoo. co. jp

pixiv id1626319

twitter takukuroneko

印刷 みかんの樹様

無断転載、複製、二次使用、翻訳などの加工を一切禁止いたします。
 本文の無断違法公開を見つけた際には
 検索サイトへのDMCA侵害申請、サーバー会社への通報、
 及び悪質な場合は損害賠償の請求などの
 対応を取らせていただく場合がございます。
 だからやめてね。

成人向けなので18歳未満の方の閲覧はダメですよ。
 また、本書の影響による第三者の犯罪、事件
 事故等は当サークルは一切関与いたしません。



幻想ストマック